

グリーン製品市場の創出に 向けたサプライチェーンにおける 脱炭素化支援事業のご案内

令和7年(2025年)6月

本資料の構成

カーボンフットプリント (CFP) とは
本事業の概要

本資料の構成

- カーボンフットプリント (CFP) とは
本事業の概要

カーボンフットプリント (CFP: Carbon Footprint of Product)¹は、製品の原材料調達から廃棄・リサイクルまでの温室効果ガス (GHG)²の総排出量

CFPとは何か

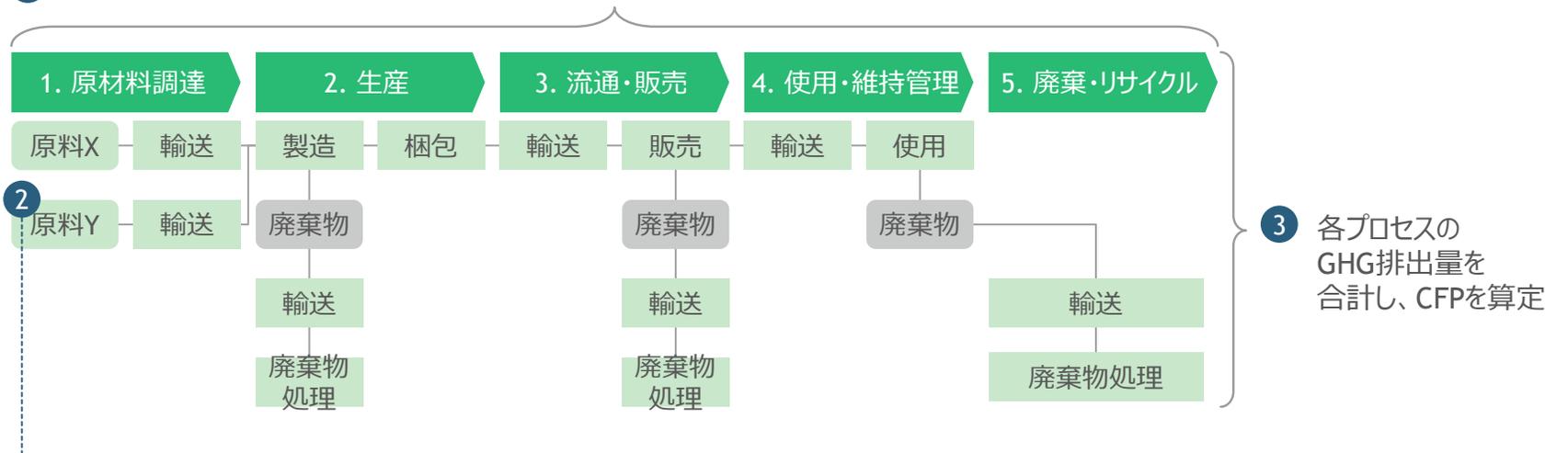


カーボンフットプリント (CFP)
(例) 12.5kg-CO₂e

ライフサイクル全体 (原材料調達から廃棄・リサイクルまで) を通したGHGを、CO₂排出量に換算した値

算定方法のイメージ

1 製品の原材料調達から廃棄・リサイクルまでの全ての過程を、プロセス (モノ・工程) に分解する



活動量

原材料の重量、製造における電力投入量等
(例) 原料Yの重量 2.5kg

できる限り自社のデータを入手する

排出係数

各プロセスの単位あたりGHG排出量
(例) 原料Y生産の排出係数 XXkgCO₂e/kg

二次データベースを用いる

実際の算定では、表計算ソフトを用いる

プロセス	活動量	排出係数	GHG排出量
1. 原料Yの調達	2.5kg	XX kgCO ₂ e/kg	55 kgCO ₂ e
2. 原料Yの生産	2.5kg	XX kgCO ₂ e/kg	55 kgCO ₂ e
3. 原料Yの輸送	2.5kg	0.00 kgCO ₂ e/kg	0.00 kgCO ₂ e
4. 原料Yの製造	2.5kg	0.00 kgCO ₂ e/kg	0.00 kgCO ₂ e
5. 原料Yの梱包	2.5kg	0.00 kgCO ₂ e/kg	0.00 kgCO ₂ e
6. 原料Yの販売	2.5kg	0.00 kgCO ₂ e/kg	0.00 kgCO ₂ e
7. 原料Yの使用	2.5kg	0.00 kgCO ₂ e/kg	0.00 kgCO ₂ e
8. 原料Yの廃棄	2.5kg	0.00 kgCO ₂ e/kg	0.00 kgCO ₂ e
9. 原料Yのリサイクル	2.5kg	0.00 kgCO ₂ e/kg	0.00 kgCO ₂ e
合計	2.5kg	0.00 kgCO₂e/kg	110 kgCO₂e

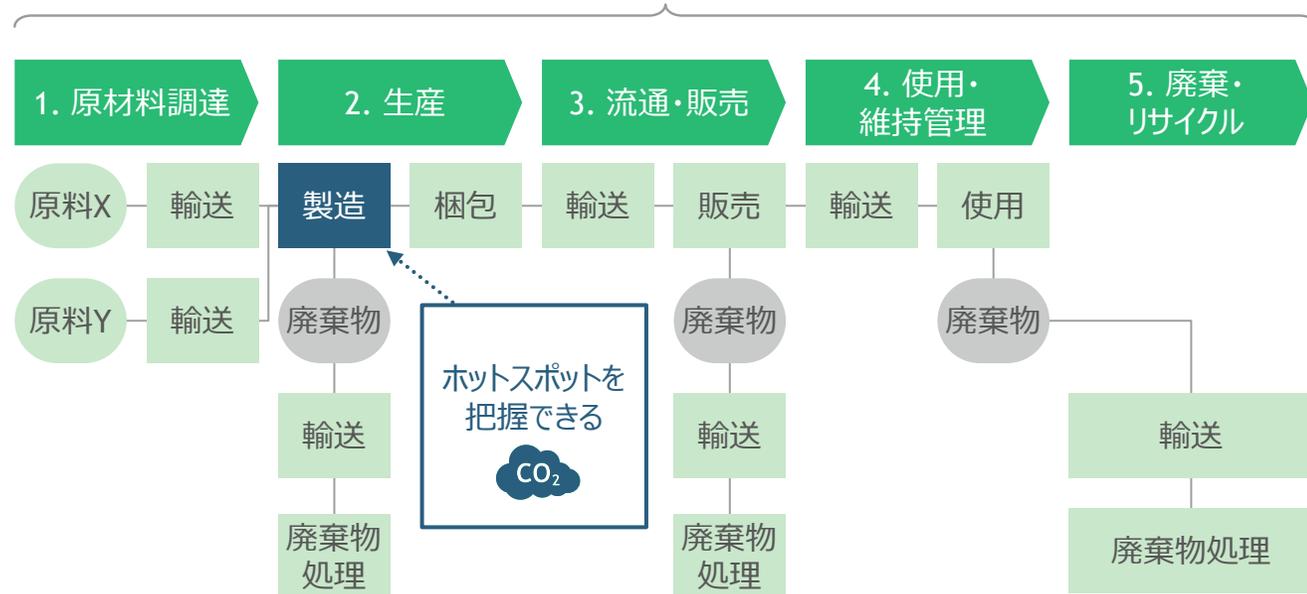
1. 製品・サービスの原材料調達から廃棄、リサイクルに至るまでのライフサイクル全体を通した温室効果ガス排出量を、CO₂排出量として換算した値のこと
2. Greenhouse Gasの略。二酸化炭素 (CO₂) やメタン (CH₄)、一酸化二窒素 (N₂O)、フロンガス等が該当する

Source: カーボンフットプリントガイドライン(別冊)CFP 実践ガイド (経済産業省・環境省) <https://www.env.go.jp/content/000136177.pdf>; グリーン・バリューチェーン・プラットフォーム(環境省・経済産業省・農林水産省) https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/cfp_calculation.html

CFPはサプライチェーンにおける排出量の見える化、ホットスポットの把握を可能とするため 効率的に削減策を進める上で重要

なぜ、いまCFPが必要なのか (企業のGHG排出量削減の視点)

製品のライフサイクルの各項目に対する排出量を算定し、合計してCFPを算定
||
製品毎のGHG排出量を包括的かつ詳細に把握可能



“

CFPを算定したことで、排出量の多い段階を把握できた。それにより効率的な削減策の検討や実行が可能となった

“

CFP算定結果をサプライヤーに共有することで、製造段階における削減の重要性を認識してもらえた。そのおかげで、サプライヤーと協力してGHG削減ができています

CFPに取り組んでいる企業



B2B製品においても、サプライチェーン全体でのGHG排出量削減に向けて、取引先からCFPを求められることも増えてきている

なぜ、いまCFPが必要なのか (企業のGHG排出量削減の視点)



“ 調達先にCFPを提供して、選定の材料として活用してもらっている ”

“ 顧客から「GHG排出量が減るのが数値でわかるので便利」と言われた ”

“ 顧客から「業界の中でも進んでいる企業」と評価してもらえた ”

CFPに取り組んでいる企業



既に日本でも多くの企業がCFPを算定し、公開している

なぜ、いまCFPが必要なのか (消費者の視点) -参考事例

企業名/CFP算定対象

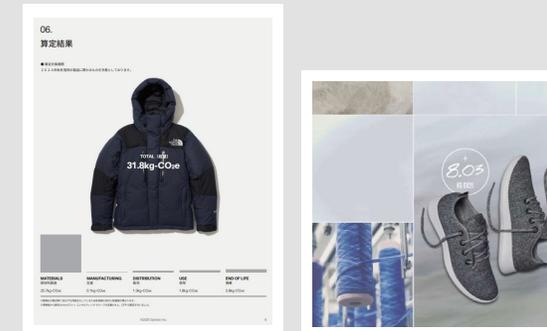
株式会社ユニテッドアローズ/カットソー



ミニストップ株式会社/ ソフトクリーム、食べるスプーン、 プラスチックスプーン



株式会社ゴールドウイン/ ジャケット(ノースフェイス)、スニーカー(Allbirds)



株式会社 I - n e /シャンプー



チヨダ物産株式会社/革靴



佐川急便株式会社/飛脚宅配便



株式会社アシックス/ ランニングシューズ



株式会社コーセー/ 化粧水



Source: CFP実践ガイド; カーボンフットプリントの表示等の在り方検討会 アシックス CFP表示の取組について (株式会社アシックス); カーボンフットプリント実践ガイド; ゴールドウイン Website; Allbirds 2023年版サステナビリティレポート; I - n eカーボンフットプリント算定報告書; コーセー 雪肌精 クリアウェルネスピュア コンク SS カーボンフットプリント算定報告書; 【佐川急便】飛脚宅配便1個当たりのカーボンフットプリントを算定;

政府による支援のもとCFPに取り組む企業も

なぜ、いまCFPが必要なのか (政府・自治体のCFP推進の視点)

環境省事業による個社のCFP算定・表示・削減の取組みの例

年度	企業名	製品・サービス名
R6	I - n e、山田製菓	BOTANIST ボタニカルシャンプー モイスト
	ゴールドウイン	THE NORTH FACE バルトロライトジャケット
	レコテック	pool resin製 緩衝材
	佐川急便	飛脚宅配便
R5	甲子化学工業	防災ヘルメット「HOTAMET」
	チヨダ物産	紳士靴
	ハースト婦人画報社	SDGs関連イベント 「ELLE ACTIVE! FESTIVAL 2023」
	マルハニチロ	冷凍食品 「白身魚タルタルソース」
	ミニストップ	「ソフトクリーム バニラ(食べるスプーン)」
R4	コーセー	雪肌精 クリアウェルネスピュア コンク SS
	東京吉岡	循環型リサイクルポリエチレン袋
	明治HD	明治ミルクチョコレート
	ユナイテッドアローズ	クルーネック半袖カットソー

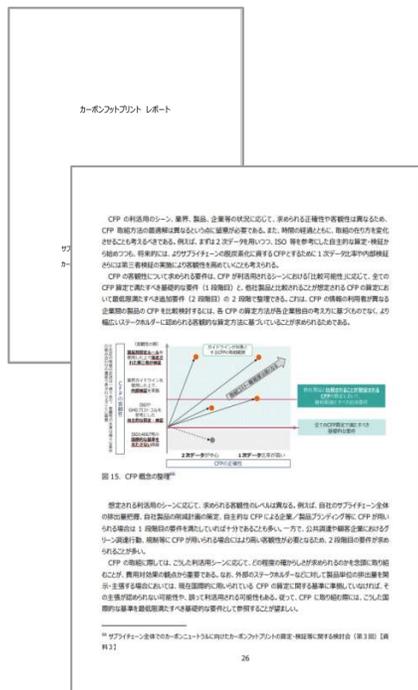
環境省・経産省事業による業界によるルール策定の例

業界	参画団体	算定	表示
文具	一般社団法人全日本文具協会、プラス、コクヨ、シヤチハタ、ニチバン、リヒトラブ、ゼブラ	✓	✓
靴	チヨダ物産、東邦レマック、TOSMAX、ダイマツ、山三商事	✓	✓
紙	日本製紙連合会、三菱製紙、レンゴー、王子ホールディングス、日本製紙、北越コーポレーション、大王製紙	✓	
オフィス家具	一般社団法人日本オフィス家具協会、コクヨ、イトーキ、内田洋行、オカムラ	✓	
ソフトウェア	日本電信電話、NTTアドバンステクノロジー、NTTデータグループ、NTTテクノクロス、NTTコムウェア、クニエ、日立製作所、日本電気、富士通	✓	

企業の取組みを支援するため、政府によるCFPのガイドライン等の整備も着々と進んでいる なぜ、いまCFPが必要なのか (政府・自治体のCFP推進の視点)

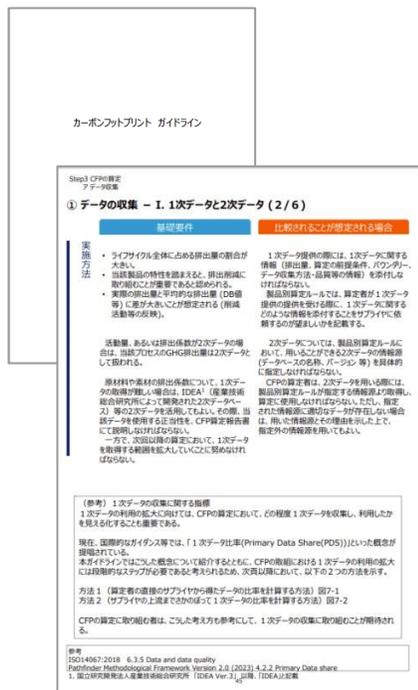
CFPレポート (経済産業省)

CFPの最新動向を紹介



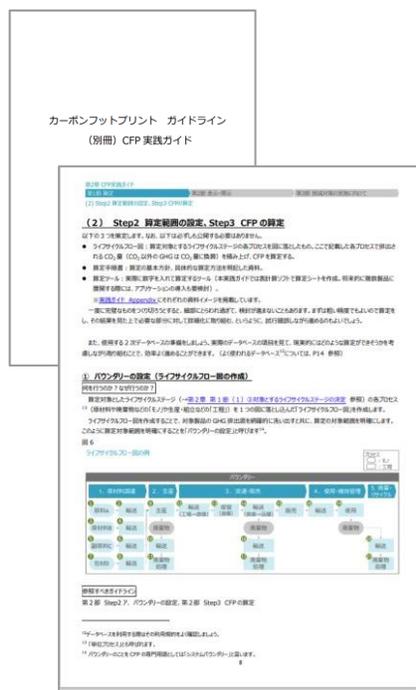
CFPガイドライン (経済産業省・環境省)

算定・検証の要件を記載



CFP実践ガイド (経済産業省・環境省)

実務者向けにCFPの算定・ 表示等の仕方を解説



CFP表示ガイド (環境省)

CFPの表示で求められること を解説



CFP入門ガイド (環境省)

CFPの初心者向けに算定や 表示の仕方を解説



Source: カーボンフットプリント検討会資料 (経済産業省、https://www.meti.go.jp/shingikai/energy_environment/carbon_footprint/pdf/20230331_1.pdf); カーボンフットプリントガイドライン・CFP実践ガイド (経済産業省・環境省、https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/guide/CFP20230703_002.pdf); https://www.env.go.jp/earth/ondanka/supply_chain/gvc/files/guide/CFP_jissen_guide.pdf); ボストン・コンサルティング・グループ作成

本資料の構成

カーボンフットプリント (CFP) とは

➤ 本事業の概要

グリーン製品の開発・生産を目指す企業に対してCFP算定、削減策の検討、ブランディング、 加えて削減策実行にかかる助成金の申請を支援する

事業概要

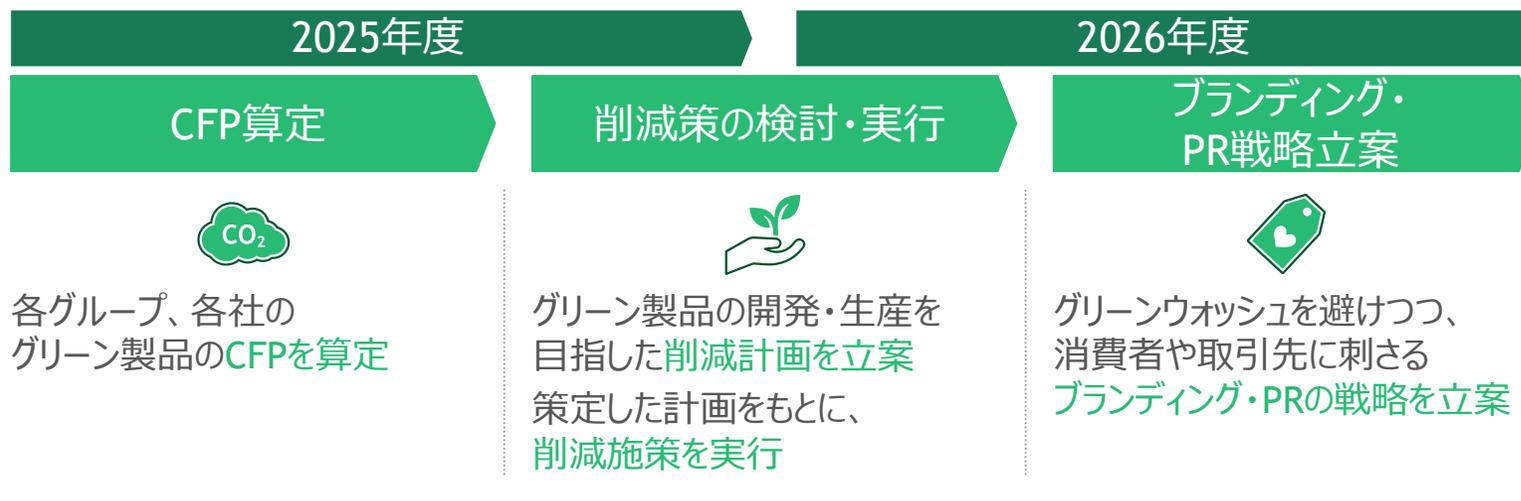
背景と目的

東京都が掲げる「ゼロエミッション
東京戦略 Beyond カーボン
ハーフ」を実現するには、
サプライチェーン全体で脱炭素に
取り組むことが必要

本事業では都内の企業の製品の
ライフサイクルを通じたGHG排出量
を“見える化”し、効果的な削減方
法を検討・実行していくことを目指
す

さらに、グリーン製品のブランディング
にも取り組むことで、消費者の
購買におけるグリーン製品の選択を
促進し、グリーン製品市場を
創出する

モデル事業の主な実施内容



本事業の参加企業向けの
助成金を支給

- GHG削減のための費用
- グリーン製品のブランディング・PRに係る費用 等



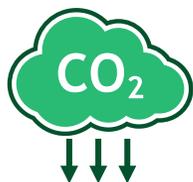
取組について報告・発信を
行う場を提供

- 東京都ウェブサイトで製品や本事業での取組みを発信
- 中間報告、最終報告を実施

サプライチェーン上の企業グループ、及び中堅/中小企業やスタートアップの単独での 取組みが対象

事業の対象製品と申請パターン

対象製品



GHG削減を目指す製品

- 今後GHG削減に取り組むことが明確になっているもの
- 現在のGHG排出量は問わない



申請パターン

サプライチェーン上の
企業グループ (最大6社) で申請



2グループ

or

企業が**単独**で申請



3社

対象の企業区分 事業所に関する条件

- 大企業
 - 中堅企業
 - 中小企業
 - スタートアップ
- リーダー企業は、東京都に本社があること
 - 過半数以上が東京都に事業所を有すること
 - 東京都に事業所を持たない企業は、国内に本社があること
 - 東京都に本社があること

1年半をかけてグリーン製品のCFP算定、削減策の検討・実行、PR戦略立案を事務局が支援する

事業の具体的な内容と事務局と参加企業の役割

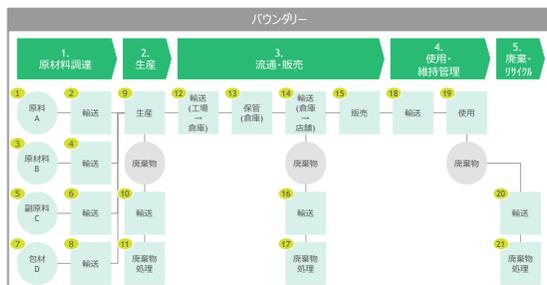
	モデル事業の具体的な内容	事務局の実施内容	参加企業の役割
製品のCFP算定	 <p>サプライチェーン上の各段階でのGHG排出量を踏まえて、CFPを算定</p>	<ul style="list-style-type: none"> 参加企業が得たデータを用いてCFPを算定 	<ul style="list-style-type: none"> CFP算定に必要な情報の整理、データの入手 必要な関係先との調整 <ul style="list-style-type: none"> 調達・流通・生産等と連携
削減策の検討・実行	 <p>算定したCFPをもとに、今後に向けた排出量の削減目標を設定し、具体的な削減策を検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> CFP算定結果を元にした、削減策案の提供 グリーン製品の開発・生産について進捗を管理しつつ、削減計画の実行や助成金申請について助言 	<ul style="list-style-type: none"> 実施している削減策の整理 今後の削減策も含めて計画 策定した計画をもとに、グリーン製品の開発・生産の準備・実行 削減に関連する助成金を申請
ブランディング・PR戦略立案	 <p>グリーンウォッシュを避ける"守り"と刺さる消費者に訴求する"攻め"のブランディングを実施する</p>	<ul style="list-style-type: none"> 対消費者、対企業視点ごとに目的を明確化し、最適な切り口と媒体を提案し、PR戦略を立案 	<ul style="list-style-type: none"> 商品のグリーン価値の訴求に向けたブランディングやPR案の検討・社内調整・実行 広報等の関連部署と協力

算定、削減、ブランディング・PR戦略に関する成果物として以下をご提供する

CFPの算定支援での成果物

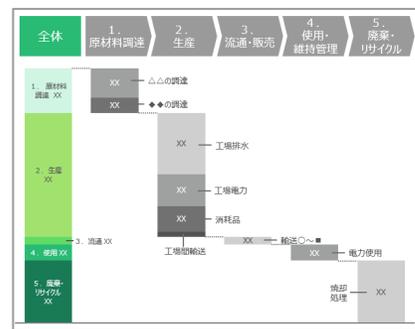
算定に関する成果物

- ライフサイクルフロー図
- 算定ツール
- 算定手順書
- 算定結果



プロセス	活動名	活動量	排出係数	GHG排出量		
1. 原材料調達						
プロセス	原料使用量	データ名	排出係数データベース情報	GHG排出量		
番号	名称	重量 (kg)	割合	GHG排出量		
1	原料Aの生産	XXX	0.0%	XXX kgCO2e		
2	原料Bの生産	XXX	0.0%	XXX kgCO2e		
3	原料Cの生産 (カットオフ)	XXX	0.0%	XXX kgCO2e		
4	原料Dの生産	XXX	0.0%	XXX kgCO2e		
	合計重量	0.0%	0.0%	0.0% kgCO2e		
2. 生産						
プロセス	製造量	輸送距離	トンキロロ	データ名		
番号	名称	(kg)	(km)	(kg) × (km) × (B)	排出係数データベース情報	GHG排出量
1	原料Aの輸送 (生産地→工場)	XXX	XXX	0.0%	輸送シナリオ	XXX kgCO2e
2	原料Bの輸送 (生産地→工場)	XXX	XXX	0.0%	輸送シナリオ	XXX kgCO2e
3	原料Cの輸送 (生産地→工場)	XXX	XXX	0.0%	輸送シナリオ	XXX kgCO2e
4	原料Dの輸送 (生産地→工場)	XXX	XXX	0.0%	輸送シナリオ	XXX kgCO2e
	合計重量	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0% kgCO2e

項目	内容
1. 算定範囲	製品Aのライフサイクル全体 (原材料調達から廃棄・リサイクルまで)
2. 算定方法	ISO 14067 (GHG) に準拠した算定方法を採用
3. 算定ツール	CFP (Carbon Footprint) ツールを使用
4. 算定結果	製品AのGHG排出量はXXX kgCO2eと算定された



削減施策に関する成果物

- 削減目標
- 削減施策と削減量
- 優先度の整理図
- 削減に向けたロードマップ

ブランディング・PR戦略立案に関する成果物

- CFP表示・ブランディング方針・PR戦略案
- 上記のタイムライン案
- 取組に関する記事 (マスメディアへの橋渡し)

算定に用いるデータは秘匿性を担保するため、不安なく取り組むことができる

データの取り扱い

単独・企業グループでの取組み

企業グループでの取組み

懸念例

排出係数DBを持っていない

算定に用いたデータは公開したくない

活動量データとコストデータは紙一重、顧客に提供したくない

対応策



算定・データ共有に必要なデータベースを参画企業にご提供



CFPの算定結果のみを公表するため、秘匿性が保たれる



事務局がデータ共有の間に入ることで、データ秘匿性を担保

IDEA (日本の有料排出係数データベース) を事務局から提供

- 原材料やプロセスごとの排出量がわかり、**効果的な削減施策検討に有効**
- ただし、単独企業、企業グループごとに付与するライセンス数には規定あり

算定を行う事務局のみにデータを提供いただき、事務局にて算定

- 企業グループでの取組の場合には必要に応じて、データを企業間で共有 (詳しくは右記)

削減につながるポイントを踏まえ、全てを共有/非共有ではなく、**必要な部分の共有をご提案**

企業グループ A社

部材aの活動量・排出係数共に弊社に提供して算定

事務局

部材aのCFPのみを提供

企業グループ B社

削減策の実行やグリーン製品のブランディング・PRに用いることができる助成金を支給する 助成金の概要

		対象と要件
対象	企業	本事業に参加した中堅企業、中小企業、スタートアップ ただし 東京都に本社や事業所を持つ企業に限る
	取組み	グリーン製品に関する取組み  <ul style="list-style-type: none"> 試作開発や試験評価 販売に向けたPR 事業化に向けた生産・量産 ブランディング
要件		<ul style="list-style-type: none"> 試作開発や試験評価に必ず取り組むこと ハンズオン支援で策定したGHG削減計画に基づき事業を実施すること 製品開発の前後でCFPを算定し、従来品よりもGHG削減効果の高いグリーン製品を開発すること グリーン製品を助成対象期間内に開発し、最終成果物として試作品、または完成品等を会社に報告すること 事業の実施場所が日本国内であること

事務局が助成金の申請書作成をサポート



助成金を支給

- 中堅企業:
取組みに係る経費の1/2又は5,000万円のいずれか低い金額
- 中小企業・スタートアップ:
取組みに係る経費の2/3又は5,000万円のいずれか低い金額

詳細は下記サイトを参照
[東京都環境公社HP¹](#)

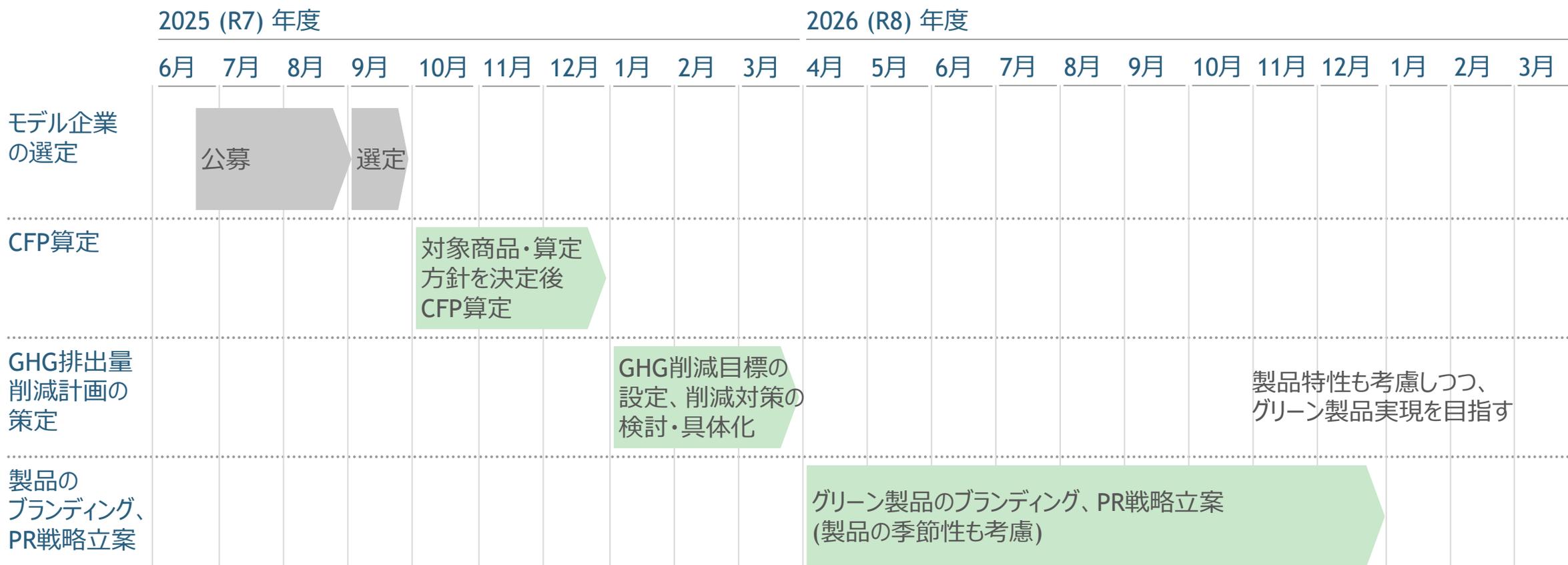


1. (公財) 東京都環境公社 (クール・ネット東京) ウェブサイト <https://www.tokyo-co2down.jp/subsidy/green-supply>

10月より事業をスタートし、年内の算定、年明けの排出量削減計画策定、 来年度のグリーン製品実現を目指す

事業の全体スケジュールの予定 (参加企業と相談の上、最終決定する)

■ : 東京都と事務局が協議して実施 ■ : 事業として実施



本事業に関する
お問い合わせ先

ボストン・コンサルティング・グループ合同会社
(東京都から事業委託)

E-mail: TokyoCFP@bcg.com

Disclaimer

The services and materials provided by Boston Consulting Group (BCG) are subject to BCG's Standard Terms (a copy of which is available upon request) or such other agreement as may have been previously executed by BCG. BCG does not provide legal, accounting, or tax advice. The Client is responsible for obtaining independent advice concerning these matters. This advice may affect the guidance given by BCG. Further, BCG has made no undertaking to update these materials after the date hereof, notwithstanding that such information may become outdated or inaccurate.

The materials contained in this presentation are designed for the sole use by the board of directors or senior management of the Client and solely for the limited purposes described in the presentation. The materials shall not be copied or given to any person or entity other than the Client ("Third Party") without the prior written consent of BCG. These materials serve only as the focus for discussion; they are incomplete without the accompanying oral commentary and may not be relied on as a stand-alone document. Further, Third Parties may not, and it is unreasonable for any Third Party to, rely on these materials for any purpose whatsoever. To the fullest extent permitted by law (and except to the extent otherwise agreed in a signed writing by BCG), BCG shall have no liability whatsoever to any Third Party, and any Third Party hereby waives any rights and claims it may have at any time against BCG with regard to the services, this presentation, or other materials, including the accuracy or completeness thereof. Receipt and review of this document shall be deemed agreement with and consideration for the foregoing.

BCG does not provide fairness opinions or valuations of market transactions, and these materials should not be relied on or construed as such. Further, the financial evaluations, projected market and financial information, and conclusions contained in these materials are based upon standard valuation methodologies, are not definitive forecasts, and are not guaranteed by BCG. BCG has used public and/or confidential data and assumptions provided to BCG by the Client. BCG has not independently verified the data and assumptions used in these analyses. Changes in the underlying data or operating assumptions will clearly impact the analyses and conclusions.



[bcg.com](https://www.bcg.com)